

桜梅桃李(おうばいとうり)

校長 桑野 啓子

4月7日に169名の新生を迎えて、1年から9年の彩都の丘学園の子どもたちは、1552名になりました。昨年度の42学級から、今年度は44学級になりました。この数年は様々な変更も必要な日々でした。この2022年度もどんな日々になるのかは予測が付きません。しかしこれまでも、これからもいつも知恵と工夫で学園は子どもたちと力をあわせて進みたいのです。そして「子どもたちのために」の一心で保護者・地域のみなさんとつながっていきたいです。

「夢・未来に向けて、自ら～学ぶ、鍛える、つながる～こどもの育成」を学園の目標にしています。子どもたちは、一人ひとりにもちあじがあり、その異なるもちあじを互いに大切にしていきたいです。一緒にいることで学びあい、一緒にいることで心身ともに鍛えていけると考えます。そして縦(異学年)にも横(学年)にもつながっていきたいと考えます。この4月、まずは新クラス、新学年での新しいつながりをゆっくりと育てていきます。

「桜梅桃李～おうばいとうり」という言葉を昨年度の4月にも書かせていただきました。新年度のはじめに、いつも頭に浮かぶ言葉です。今年度も多くの教職員を新たに迎えています。おとなも子どもも、それぞれらしい花を咲かせ、実を結ぶことができることをめざしていきます。どの人もかけがえのない大切なひとりであることを互いに胸に刻み、みんなが安心できる気持ちで日々を過ごしていきたいです。まずは、「あいさつのあふれる彩都の丘学園」でありますよう、みんなで心がけて参ります。保護者、地域のみなさんと我々教職員が **Team Saito** (チーム彩都) としてつながりあい、子どもたちのつながりを見守り、育てていきますよう、今年度もみなさんのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。